

目次

□巻頭言 CONEXPO 雑感……………中野 信 / 1
 鶴見川浚渫工事実績……………高岡 達行 / 3
 北村 正仁
 URT 工法による取水暗渠の施工……………五十嵐 伊三郎 / 8
 東海道本線野洲川橋梁の設計と施工……………鳥居 興彦 / 14
 安村 山 浩一

グラビヤ——東海道本線野洲川橋梁工事

ユーカリが丘鉄道（新交通システム）の概要……………鈴木 稔 / 22
 高圧水ジェット砕岩現地実験……………中川 英毅 / 27
 □随想 建設機械化協会と加藤会長と私……………三宅 淳達 / 32
 □昭和 55 年度官公庁・建設業界で採用した新機種

建設業界……………佐藤 裕俊 / 34
 昭和 55 年の建設機械新機種とその傾向……………杉山 庸夫 / 52
 第 32 回通常総会開催…………… / 58

□新機種ニュース……………調査部会 / 68
 □文献調査
 高層建築におけるタワークレーンの投入に関する研究
 ……………文献調査委員会 / 72

□整備技術
 コンピュータによる機械メンテナンス（その 1）……………整備技術部会 / 75
 □建設機械化研究所抄報 <<131>>
 ROPS 静荷荷試験…………… / 77

□統計
 建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移
 ……………調査部会 / 80

行事一覧…………… / 81

編集後記……………（古橋、梅津） / 84

◀表紙写真説明▶

コマツ・超スイング
 パワーショベル PC 60 U
 株式会社 小松製作所

本機は超スイング（側溝掘り）機構を採用したユニークな小型パワーショベルである。レバー 1 本で任意のブームスイング（側溝掘り）角度が得られるので、従来むずかしいとされていた堀ぎなどの側溝掘削もスムーズに行える。さらに、作業機最小旋回半径がミニバックホウ並みに小さいので、道幅が 7m あれば交通を遮断することなく片車線内で掘削、積込みができる。また、すぐれた同時操作性、快適な運転室なども大きな魅力である。

◀主な仕様▶

バケット容量……………0.08~0.30 m³（標準 0.25 m³）
 機関出力……………52 PS/2,400 rpm
 最大掘削深さ……………3,800 mm
 運転整備重量……………6,900 kg
 バケットオフセット……………左 850 mm, 右 680 mm
 ブーム旋回角度……………左 53°, 右 121°